

医薬品安全管理教育セミナー2015 春季

テーマ： ハイリスク医薬品の有害作用と危機管理

会期： 2015年5月9日(土)～10日(日)午前
会場： 東京大学法文1号館25番講堂。定数700名
(東京都文京区本郷7-3-1)

医薬品には既知/未知の重篤有害作用が存在する場合があります。本セミナーは、薬剤師および看護師がこれらの適切な対応を円滑にするために、関連する最新医学の基本知識を提供するものです。
参加者にはお渡しします。

受講対象者： 国際医療リスクマネジメント学会の会員、日本医療安全学会の会員、医薬品安全管理者、薬剤師、看護師、
医薬品製造・輸入・販売業者、その他

プログラム

2015年5月9日(土)

受付開始 午前9時

午前10時～午前10時50分 (官庁講演) **医薬品副作用被害救済制度について**

厚生労働省医薬食品局/独立行政法人医薬品医療機器総合機構

午前11時～午前11時50分 (臨床医学講義 1) **胎児期での薬物投与の有害作用と注意点**

永松 健 (東大病院産科婦人科学教室)

午後1時～午後1時50分 (臨床医学講義 2) **新生児/小児へのハイリスク薬の有害作用と注意点**

高橋 尚人 (東大病院 総合周産期母子医療センター、新生児科)

午後2時～午後4時 (パネルディスカッション 1) 「ハイリスク薬の院内ガバナンスの現状と課題」

2015年5月10日(日)午前

午前8時30分 受付開始

午前9時～午前9時50分 (臨床医学講義 3) **抗癌剤による薬物有害作用の概要**

篠崎 英司 (がん研有明病院消化器内科)

午前10時30分～午前11時10分 (薬剤講演) **地域医療連携の中で薬物療法の質と安全をシームレスに担保するには**

橋田 亨 (神戸市立医療センター中央市民病院 院長補佐・薬剤部長)

午前11時10分～午前12時 (パネルディスカッション 2) 「電子お薬手帳を活用した服薬の安全管理」

座長：橋田 亨

- 1 電子お薬手帳利用者 (保険薬局薬剤師)
- 2 電子お薬手帳ベンダー (SONY など)

参加申込締め切り： 2015年4月27日

定数(700名)になり次第に、申込受付を閉め切ります。

参加申し込み方法： 下記のホームページをご覧ください。
参加費を掲載しています。

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部

(〒)113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(電子メール) head.office01@iarmm.org

(Tel/Fax) 03-3817-6770

ホームページ <http://www.iarmm.org/J/Drug2015May/>